

つぎの 文しょうを 読んで、もんだいに 答えましょう。

教室の本だなは、すぐにごちゃごちゃになってしまいました。どうすれば、本を出し入れしやすくなるのでしょうか。

一つ目のくふうは、よく読む本を、手のとどきやすいところにおくことです。毎日つかう本が高いところにあると、出すたびに、せのびをしなければなりません。

二つ目のくふうは、同じなかまの本を、まとめてならべることです。図かんは図かん、絵本は絵本とまとめておけば、読みたい本をすぐに見つけられます。

三つ目のくふうは、本の高さをそろえることです。高い本とひくい本がまじっていると、ひくい本がおくへ入りこんで、見えなくなっています。

ならべ方をすこしくふうするだけで、本だなは、ぐんとつかいやすくなります。みんなで話し合って、クラスの本だなのきまりを作ってみましょう。

(このもんだいのための書きおろし)

(一) 一つ目のくふうは何ですか。「こと」につづくように、文しょうから二十五字まで書きぬきましょう。

と	よ
こ	く
ろ	読
に	む
お	本
く	を
	、
	手
	の
	と
	ど
	き
	や
	す
	い

(二) 同じなかまの本をまとめてならべると、どんなよいことがありますか。ア～ウから一つえらびましょう。

ア 本が、高くなる。

イ 読みたい本を、すぐに見つけられる。

ウ 本が、これにくくなる。

イ

(三) 高い本とひくい本がまじっていると、どうなりますか。三十字まで書きましょう。

え	ひ
な	く
く	い
な	本
っ	が
て	お
し	く
ま	へ
う	入
。	り
	こ
	ん
	で
	、
	見

(四) この文しょうの書き方として、あうものはどれですか。ア～ウから一つえらびましょう。

ア 本だなを作った人の話を、じゅんに書いている。

イ くふうを一つだけ、くわしく書いている。

ウ はじめにといかけて、くふうを三つ書き、さいごにまとめている。

ウ

【小2】国語 文章問題 説明文 4 答えと解説

問一（二十五点） 答え：よく読む本を、手のとどきやすいところにおく

解説：二つ目のまとまりの最初の文から。

問二（二十五点） 答え：イ

解説：三つ目のまとまりの最後の文から。

問三（二十五点） 答えの例：ひくい本がおくへ入りこんで、見えなくなってしまう。

解説：四つ目のまとまりの最後の文から。

採点のポイント（二つそろって満点、一つなら半分）

- ①ひくい本がおくへ入りこむ
- ②見えなくなる

問四（二十五点） 答え：ウ

解説：一つ目・二つ目・三つ目とくふうをならべ、さいごのまとまりで、まとめている。